

361 爪つめの垢あかを煎せんじて飲のむ

362 面つらの皮かわが厚あつい

363 鶴つるのひとこえ一声

364 手てが空あく

365 手てが掛かかる

366 手てが込こむ

367 手てが付つけられない

368 手てが出でない

369 手てが届とどく

370 手てが早はやい

371 手てぐすねを引ひく

372 手て心こころを加くわえる

373 梃てこ子こでも動うごかない

374 手て塩しおにかける

375 手て玉たまに取とる

376 手てに汗あせ握にぎる

377 手てに余あまる

378 手てに付つかない

379 手てに取とるように

380 手ての内うちを見みせる